

千葉県議会議員

小宮清子のさわやかメール

小宮清子県議会報告版

No. 52

事務所 流山市平和台 2-4-3 広葉ビル 201
E-mail hikomiya538@coral.plala.or.jp

TEL・FAX 04-7159-3781
URL komiyakiyoko.blog46.fc2.com



写真は6月24日本会議一般質問に取り組む

さらば働く。生命。生活。人権を守るために 放射能に対する危機感うすい森田県政にせまる

4月の県議会議員選挙後、5月には臨時議会で528億7000万円、6月定例会議では238億1900万円の補正予算を組み、東日本大震災への被災県千葉としての対応がまわりました。5月補正では、被災者の生活再建支援（県独自の液化化により一部損壊した住宅への支援等）、インフラの復旧（道路、河川海岸、港湾、流域下水道、信号機等の復旧）産業の再生、振興（農地

や農業用施設の復旧、被災企業の工場等移転への助成等）。6月定例会議では中小企業の振興資金事業に300億円。今県として復旧・復興・生活再建は何よりも重要です。そして今県として大切な対応は、福島第一原発による放射能汚染の問題です。危機意識を持ち、対応しているとは言えません。5月臨時議会、6月定例会議において質問に取り組みました。

空間放射線量の基準を1ミリシーベルト以下に子どもを守るように

5月臨時議会

（質問）原子力発電への依存から

自然エネルギーへの転換を国に求めるべきと考えますが、どうですか。

（答弁）国の動向を注視していき

たい ※県の主体性は全くなし

（質問）子どもたちが走り回る学校の校庭を測定し、公表するべきですが、どうですか。

（答弁）校庭の活動については、土壌よりも身体が受ける影響の大きさを示す地表近くの放射線量の把握が重要。持ち運びのできる放射線測定機の整備を検討。※県は土壌については全く計る必要性を感じていません。この鈍さが危険

6月定例会

5月臨時議会の放射能に関する質問に引き続き6月議会でも取り組みました。

（質問）県は、空間放射線量の測定にあたり、年間20ミリシーベルト、1時間当たり3.8マイクローシーベルトを依然として基準にしているが、年間1ミリシーベルト以下を基準とするべきではないですか。

（答弁）空間放射線の被爆量については、明確な基準がないことから、様々な混乱が生じており、全国一律の基準が定められるべ

きと考える。 ※この答弁、またまたはぐらかしです。国任せ、より甘い基準採用、これでは県民の生命・健康を守り、これから何年、何十年放射能と真剣に向き合おうという県にはなれません。

生涯大学校について

昭和50年千葉市に開校以来35年の歴史を持つ千葉県生涯大学校は、現在5学園6校舎が設置され、一般過程・通信課程・専門課程・に約3500人が学んでいます。これから高齢者が、地域で生き甲斐ある人生を、いかにつくり出すか、県の課題でもあります。

（質問）「千葉県生涯大学校のあり方について」社会福祉審議会より答申が出ました。また、行政改革推進委員会では、公の施設の見直しの一環として生涯大学校について議論されています。答申、行政改革推進委員会の意見をどのように受け止めていきますか。

（答弁）元気で意欲のある高齢者が、豊かな経験や知識を生かし、生き生きと社会参加できるように支援する生涯大学校を目指し、改革に向け検討を進めます。

無料法律相談

一人で悩まずご相談下さい

毎月第4土曜日 午後2時～4時

平和台 2-4-3 社民党事務所

(できましたら事前にご連絡下さい)

相談日以外でも弁護士への相談を受け付けます。

法律相談

法律を必要とするどのような問題にでも直接弁護士が相談に応じます

市民相談

福祉、教育、環境、地域の諸問題など

問合せ先

04-7159-3781 (社民党事務所)
090-8431-8107 (小宮携帯)